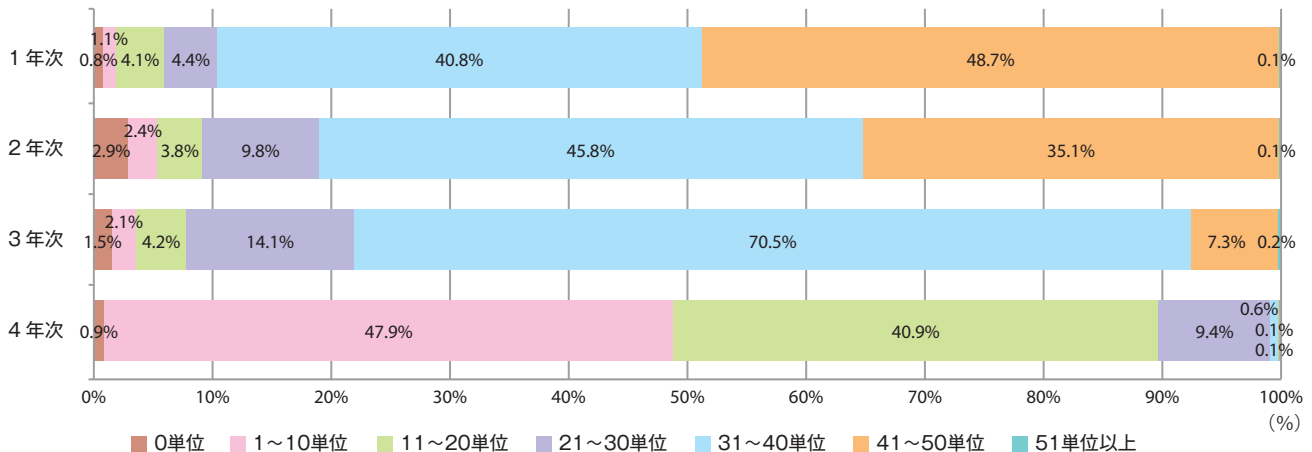


3 学修状況（学部）

3-1 学業成績

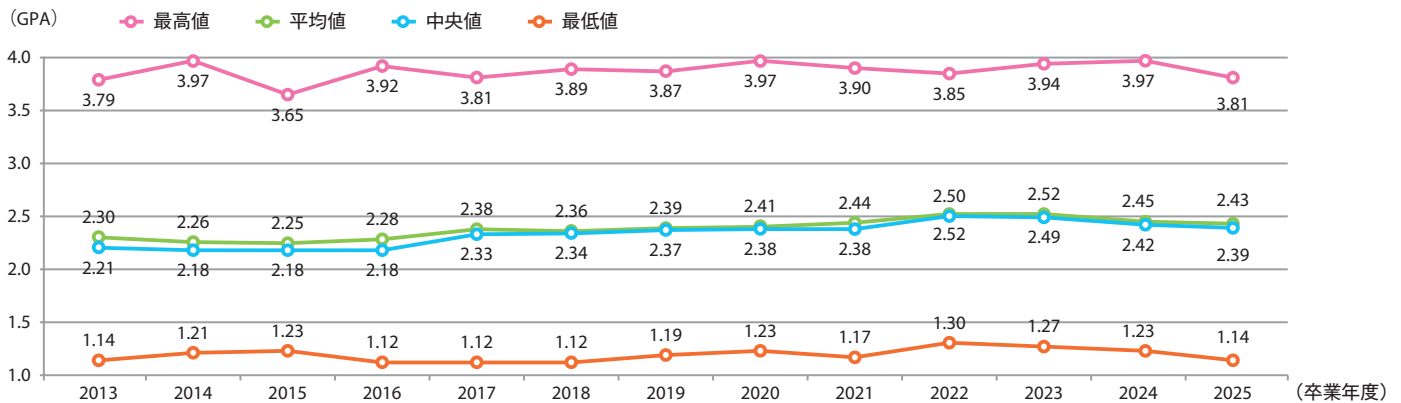
- 3-1-2：卒業生 GPA 平均値の男女別では、女子の平均値の方が依然として高い状態が続いています。
 3-1-3：入学年度別の平均 GPA は、2020 年度入学生の 3 年次・4 年次の GPA が、前後の入学年度に比べてやや高い様子が見られます。
 3-1-5・3-1-6：
 1 年後期末時点における成績不振学生（修得 20 単位未満・GPA1.0 未満）の割合は、いずれも 2022 年度をピークに 2 年連続で減少していましたが、2025 年度入学生ではともに増加に転じました。
 3-1-7：LD 学部卒業生の GPA 分布は、2015 年度以降徐々に高い値の方にシフトしていましたが、2024 年度卒業生以降その傾向はやや落ち着きを見せています。

3-1-1 単位修得状況（2026 年 3 月 31 日現在）

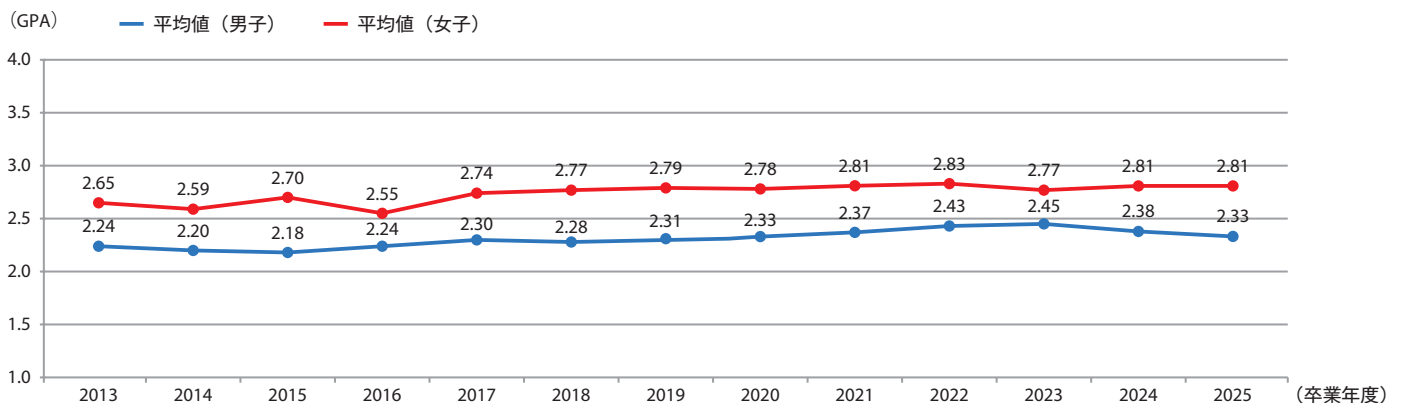


- 2025 年度の学年毎の修得単位数の状況（成績評価が認定の単位数を含む）
- 修得単位状況（%）＝各学年の修得単位数区分の人数÷各学年の 2026 年 3 月 31 日時点在籍者数
- 4 年次在籍者数には卒業者を含む
- 2025 年度中の教授会で承認された退学者を除く

3-1-2 卒業生 GPA 推移 (1) 全体

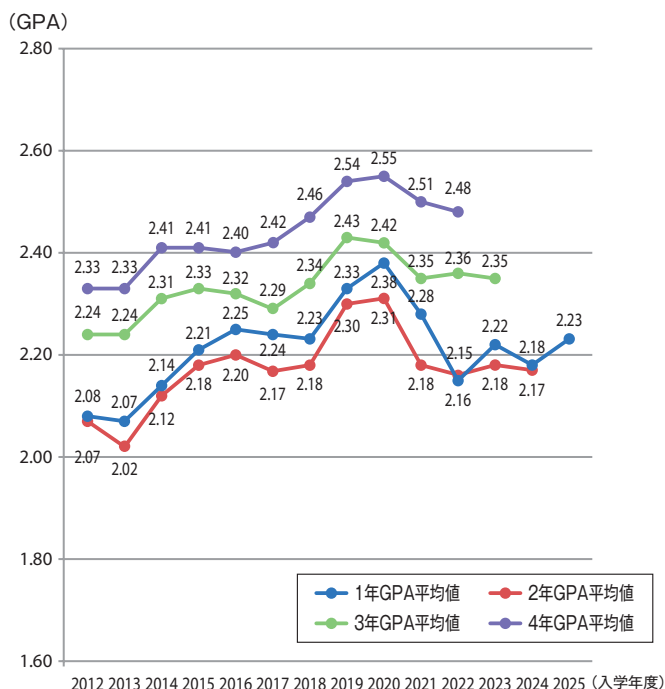


(2) 男女別平均値

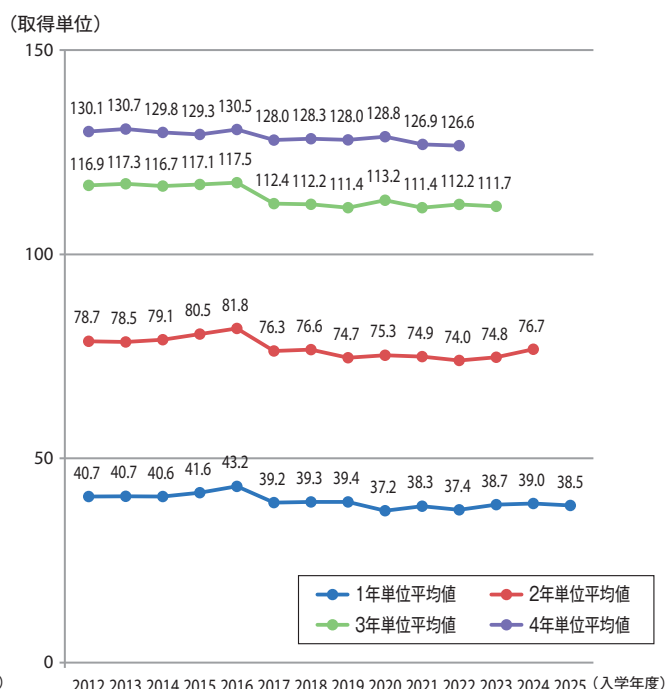


- 各年度卒業生の第 1 セメスター～第 8 セメスターまでの通算 GPA（教職科目を除く）

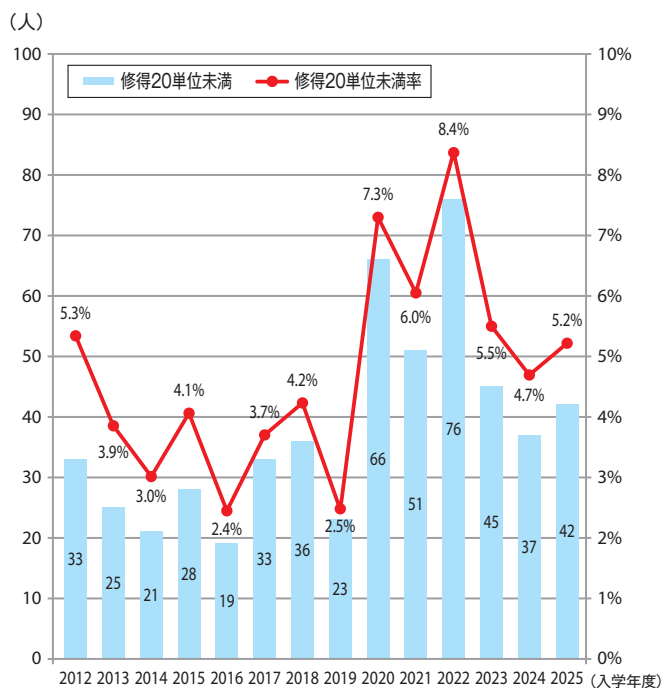
3-1-3 入学年度別平均 GPA 推移



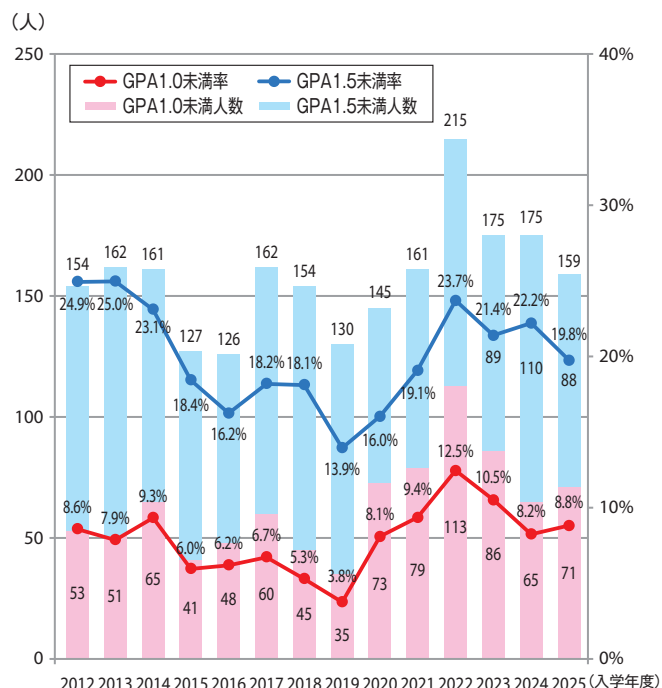
3-1-4 入学年度別平均修得単位数推移



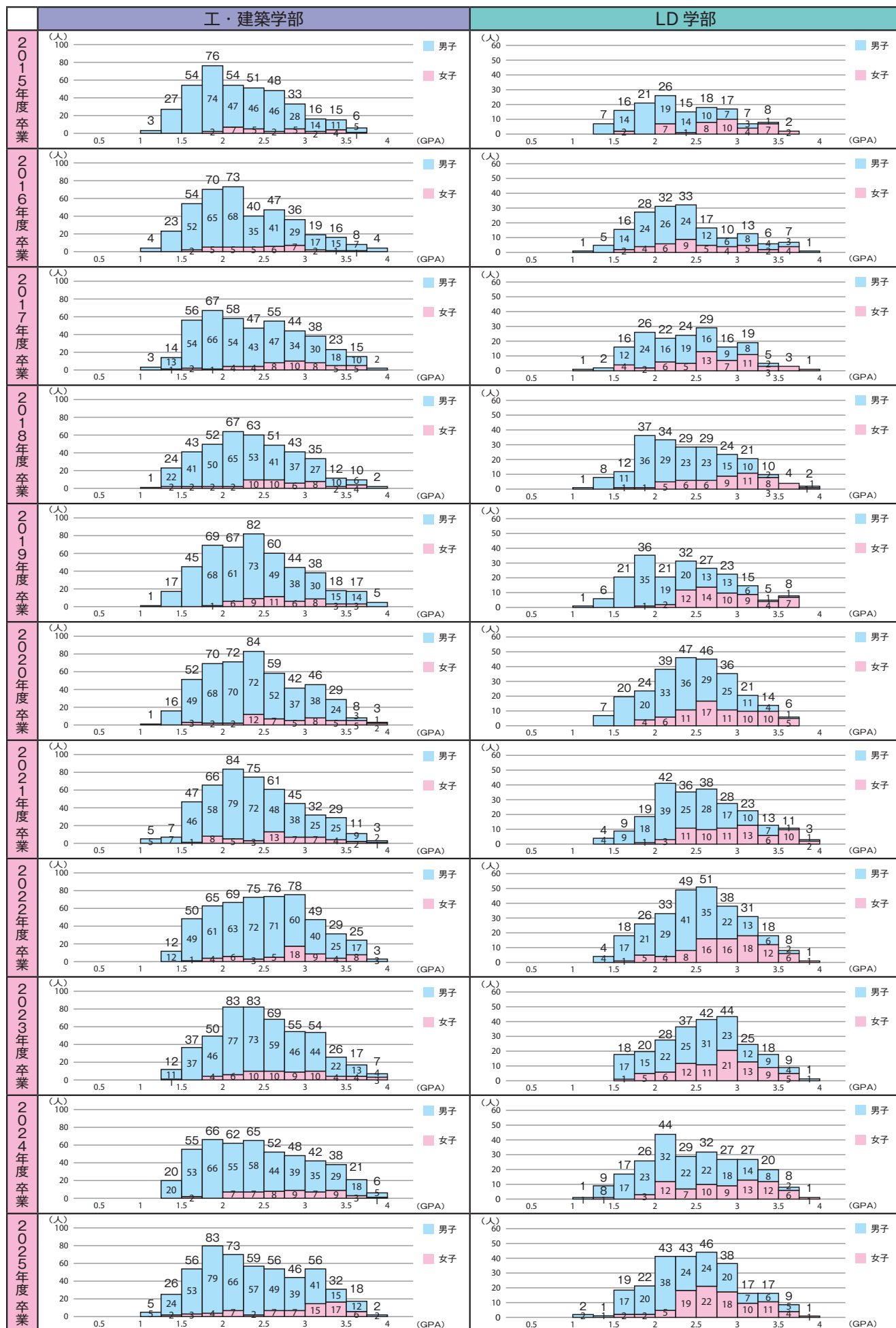
3-1-5 入学年度別修得 20 単位未満 (1 年次後期末)



3-1-6 入学年度別 GPA1.5 未満者推移 (1 年次後期末)



3-1-7 卒業年度別卒業生 GPA 分布



3-2 社会人基礎力 (PROG)

3-2-1:【リテラシー平均値】学部別1年次比較

・2026年度入学生は、3学部とも過去最高値を示す項目はなく、例年と同程度の水準にとどまりました。

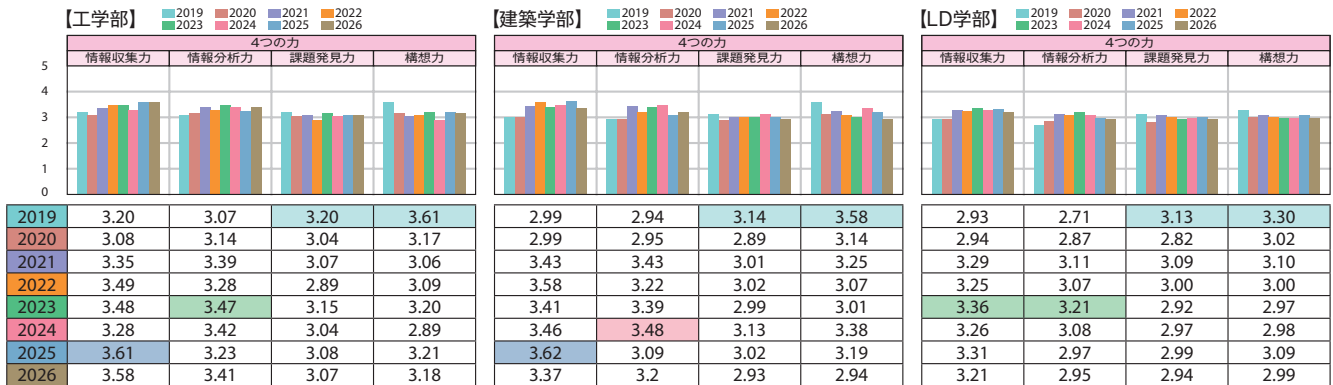
3-2-2:【コンピテンシー平均値】学部別1年次比較

・2026年度入学生も、3学部とも過去最高値を示す項目はなく、特にLD学部は2023年度入学生が多くの項目で最も高い値を示している状況が続いています。

3-2-3:【総合値分布】

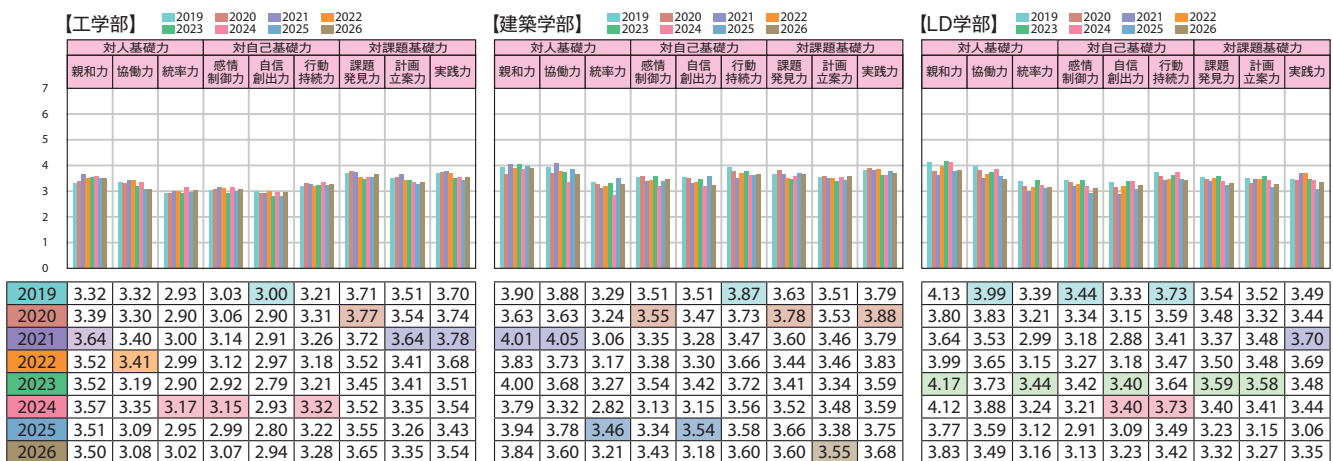
・「リテラシー」と「コンピテンシー」とともに、1年次よりも4年次の方が高得点に分布しています。

3-2-1 PROGテスト1年生 **リテラシー平均値** 2019年度～2026年度入学生



※各表・各能力項目の中で、数値が最も高い入学年度の所に色を付しています

3-2-2 PROGテスト1年生 **コンピテンシー平均値** 2019年度～2026年度入学生



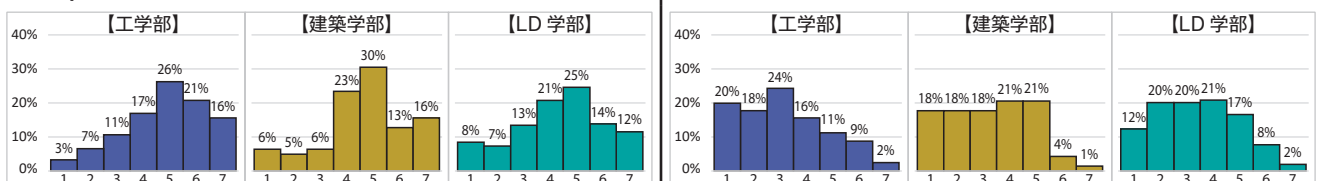
※各表・各能力項目の中で、数値が最も高い入学年度の所に色を付しています

3-2-3 PROGテスト結果・総合値分布

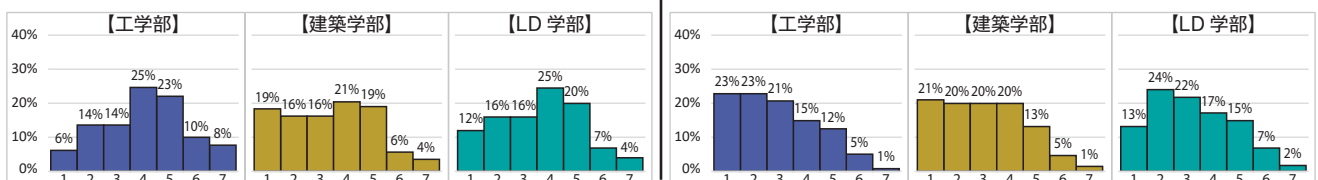
【リテラシー】

【コンピテンシー】

4年生 (2025年度実施)



1年生 (2026年度実施)



※総合値の分布 (上記グラフ) は、学部・学年ごとの在籍者数に占める割合を表示しています

3-3 大学満足度

3-3-1：【在学生の満足度】

- (1) 2026 年度入学生の入学満足度は 93.2% となり、前年度 (94.1%) に引き続き高い水準を維持しています。
- (2) 本学の総合的な満足度について、全体の「満足層」の割合は 88.9% で、前年度 (87.7%) より 1.2 ポイント増加しました。
- (3) 学生生活が「充実している～まあまあ充実している」と回答した学生の割合は 87.3% で、前年度 (84.1%) より 3.2 ポイント増加しました。

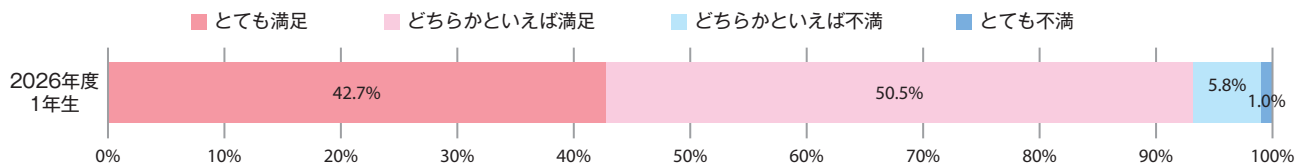
3-3-3：【プランディング浸透度】

・いずれの項目においても、前回調査 (2024 年度) よりポジティブな回答が増加しており、少しずつ浸透度が上がっていることが示されています。

3-3-1 在学生の満足度 (共通学生調査 2025・PROG 調査 2026)

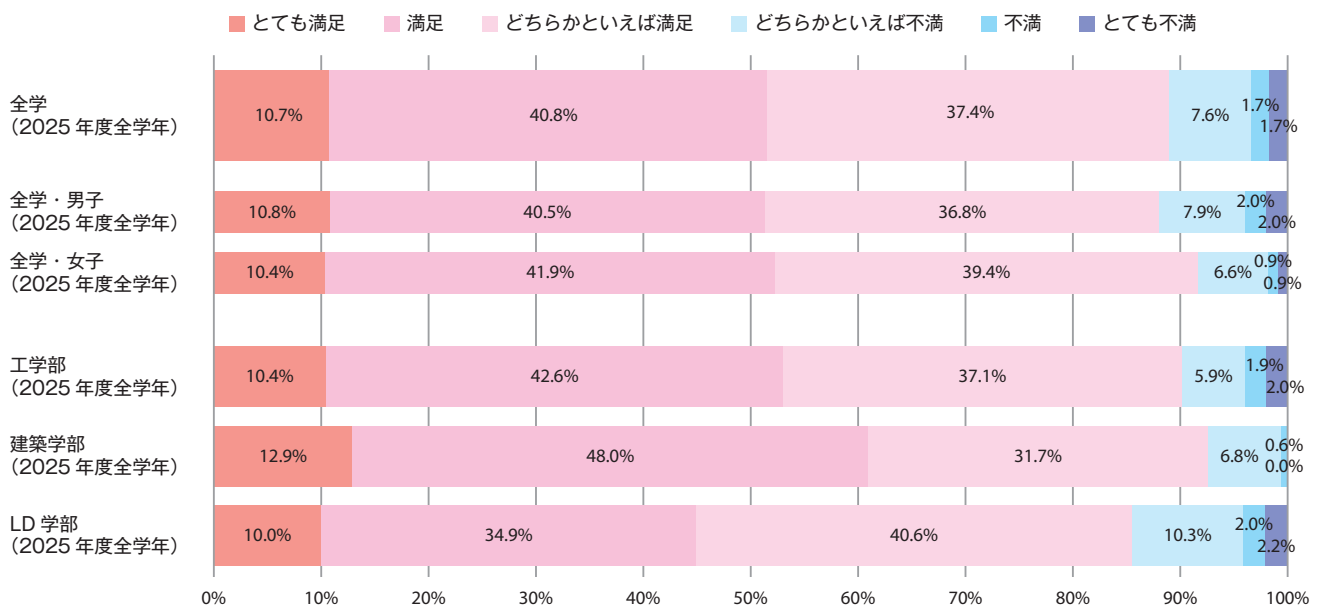
(1) 入学満足度 (PROG 調査 2026)

あなたは、本学 (現在の学科に) 入学したことに、どの程度満足していますか。



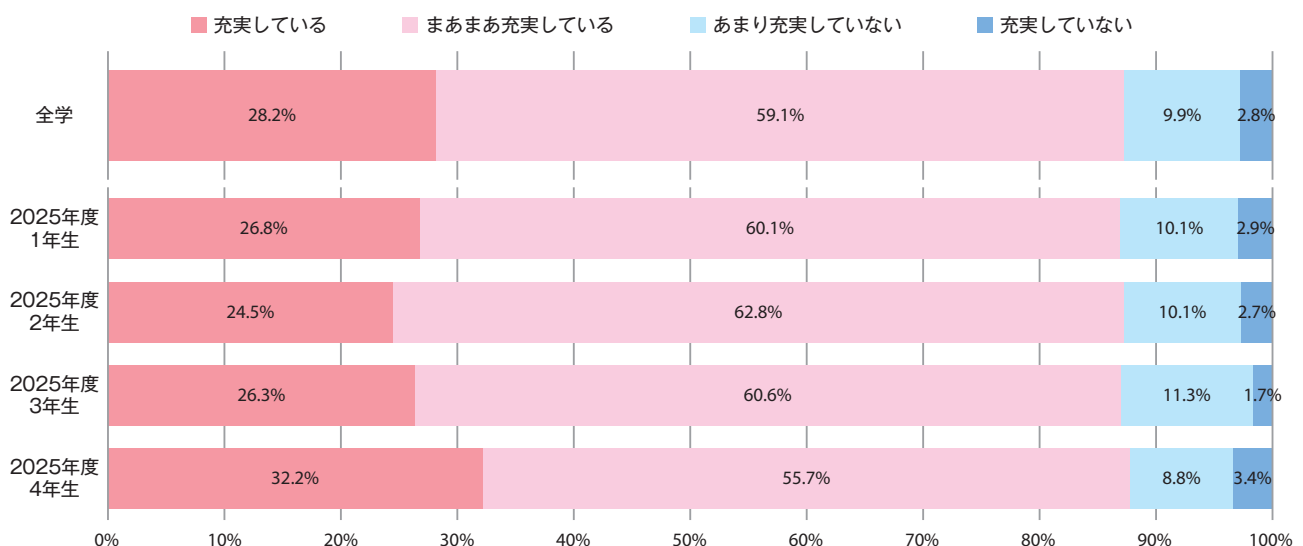
(2) 本学の総合的な満足度 (共通学生調査 2025)

本学の総合的な満足度をお教えてください。



(3) 学生生活充実度 (共通学生調査 2025)

あなたの学生生活は充実していますか。

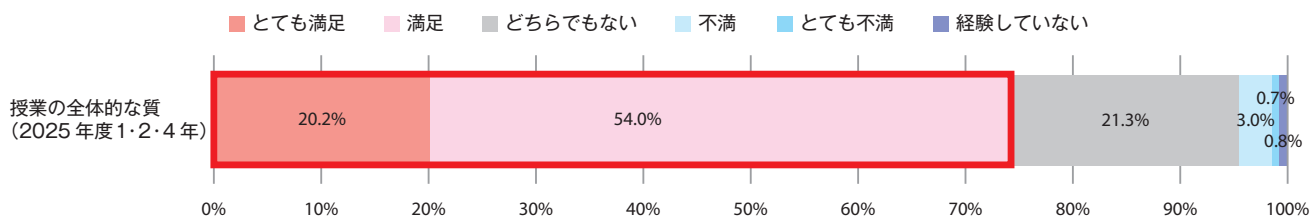


※学生の負担軽減の観点から 2024 年度は上記質問を 3 年生には行いませんでした。

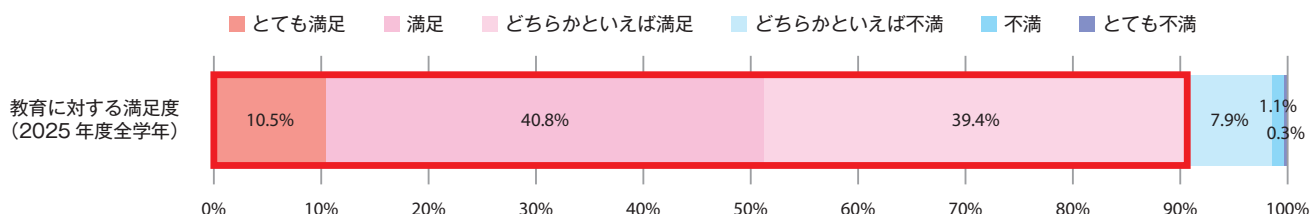
(4) 教育満足度 (共通学生調査 2025)

中期計画 KPI：教育満足度 (目標 92%以上)
※とても満足～どちらかといえば満足

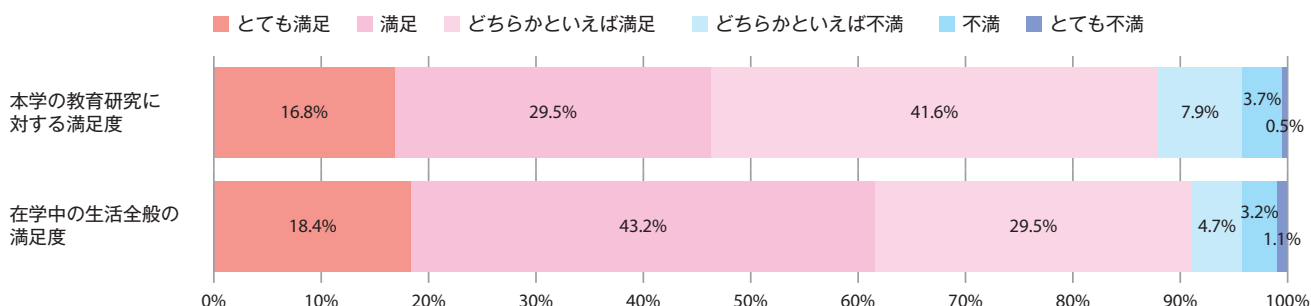
(1) あなたは、本学の教育内容・環境にどれくらい満足していますか。



(2) 本学の教育に対する満足度をお教えてください。



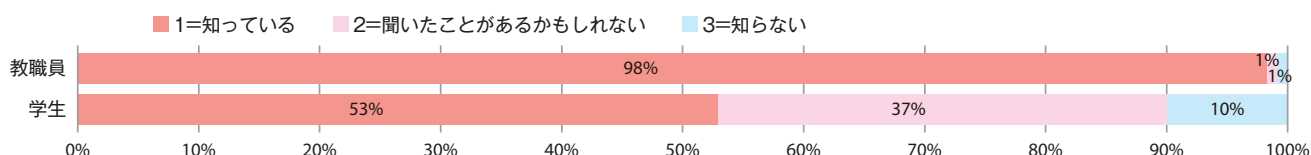
3-3-2 卒業生の満足度 (卒業後調査 2025)



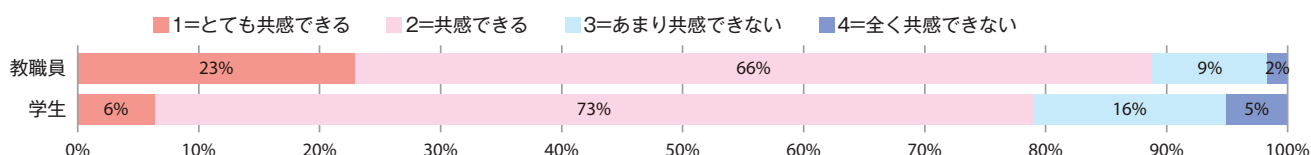
中期計画 KPI：ブランドビジョン個人活動反映者割合 (目標：教員60%～・学生40%～) ※よくしている～時々している

3-3-3 ブランディング浸透度 (共通学生調査 2025・教職員ブランディング調査 2025)

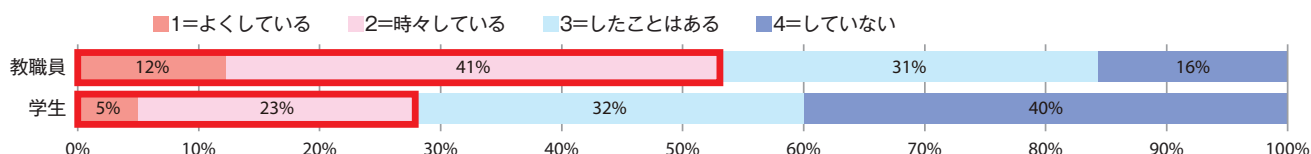
(1) 本学のブランドスローガンを知っていますか。



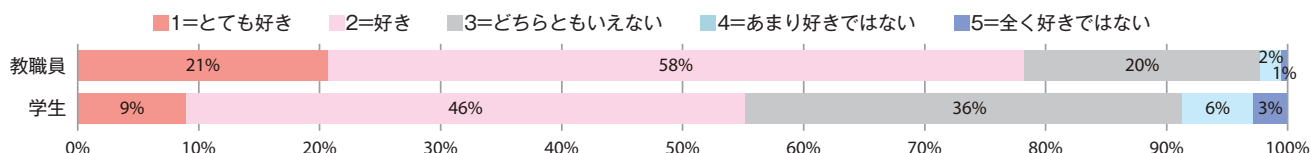
(2) 本学のブランドビジョンやスローガンに共感できますか。



(3) ブランドビジョンやスローガンと、自分の業務・教育研究社会活動を繋げて考え、実際に活動していますか。



(4) 本学のことが好きですか。

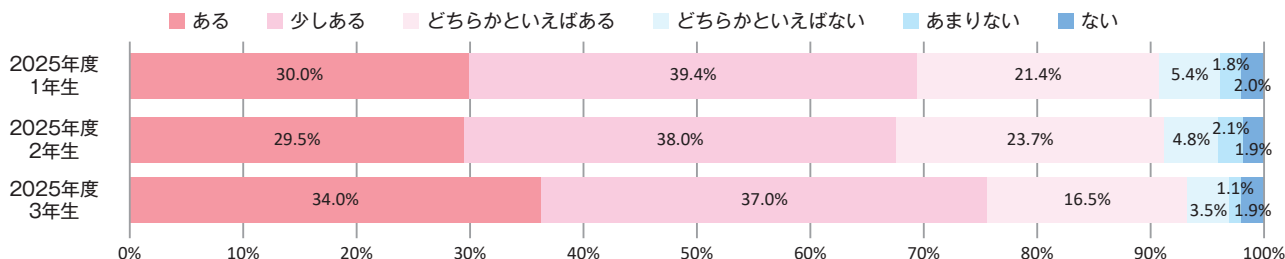


3-4 成長実感

- 3-4-1 2025年度の1～3年生の成長実感（「ある」～「どちらかといえばある」と回答した学生の割合）は、1年生90.8%、2年生91.2%、3年生87.5%となり、いずれの学年も9割前後の高い水準を維持しています。
- 3-4-2 2025年度卒業生の中で卒業時点で成長を実感していると回答した学生の割合は、前年度（2024年度卒業生）よりも増加しました。

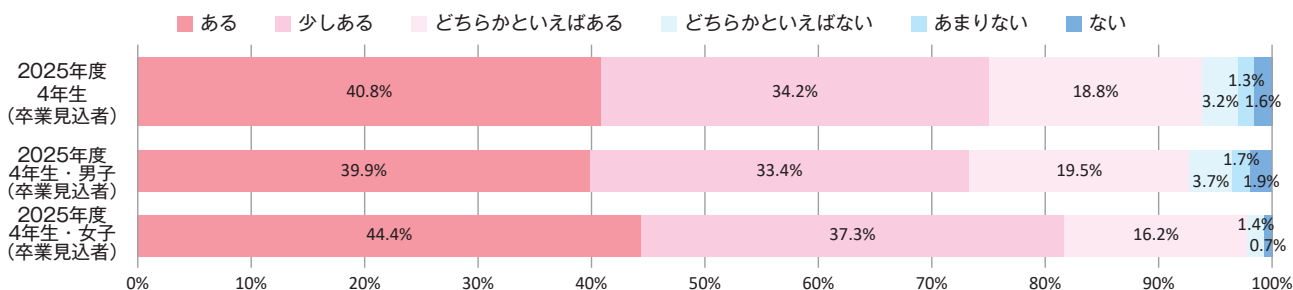
3-4-1 在学生の成長実感（共通学生調査2025）

大学生活を振り返って自身が成長した実感はありますか。



3-4-2 卒業時の成長実感（共通学生調査2025）

大学生活を振り返って自身が成長した実感はありますか。

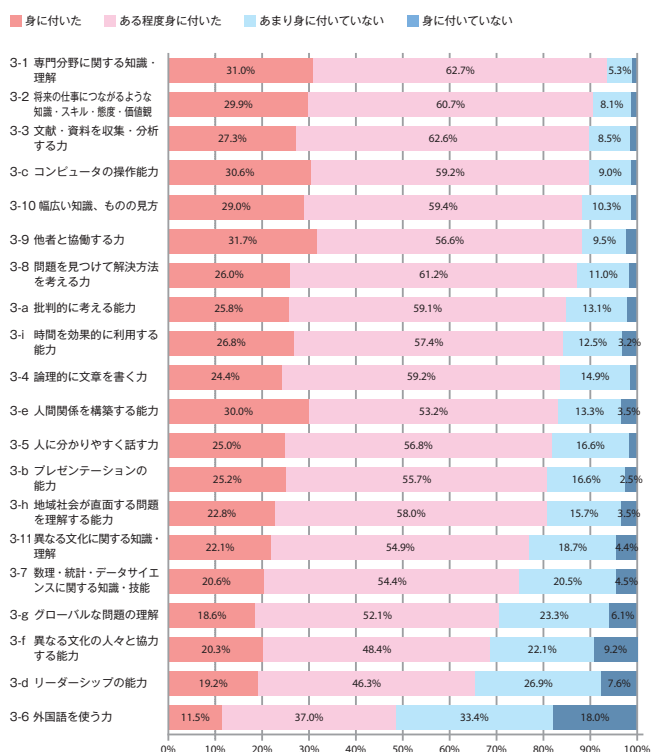


3-4-3 能力の変化（共通学生調査2025・卒業後調査2025）

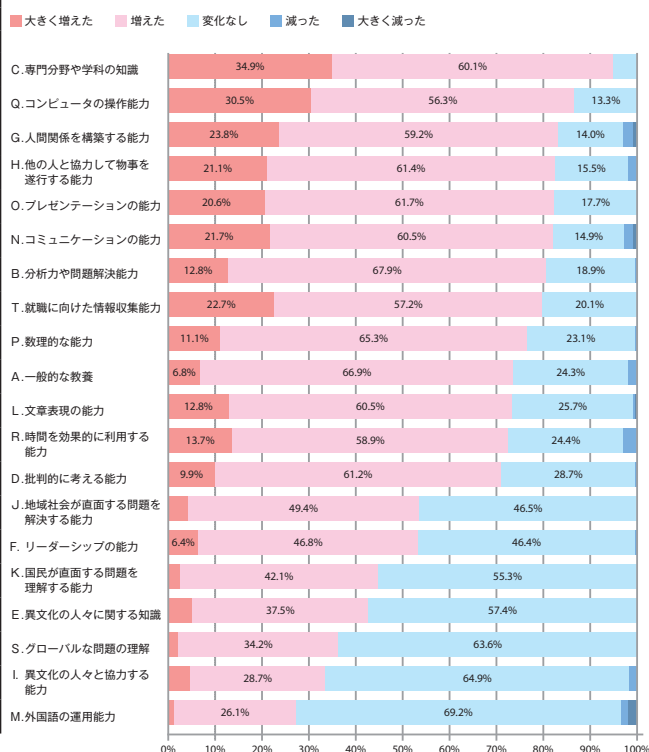
共通学生調査
（全学生）

卒業後調査
（卒業生）

大学教育を通じて、次のような知識や能力などが身に付いたと思いますか。



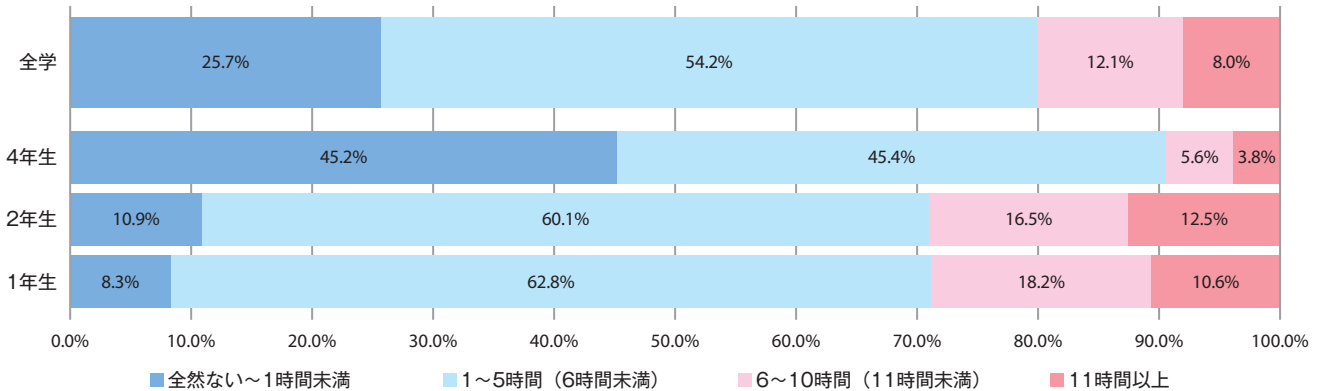
在学中を振り返って、以下の能力や知識はどのように変化しましたか。



3-5 学修時間

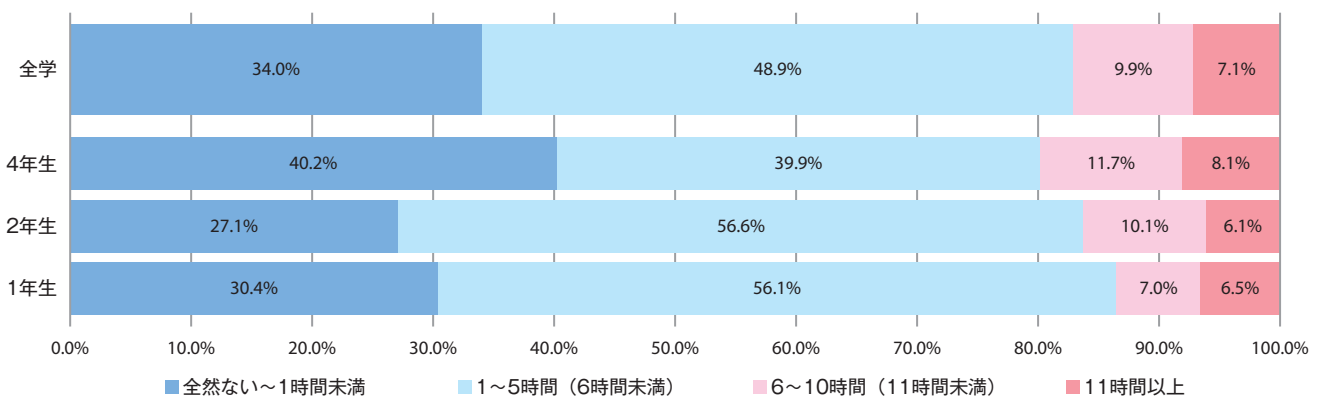
調査対象である1年生・2年生・4年生のうち、4年生のみ週あたり授業外学修時間（授業課題・準備学習・復習）を「全然ない～1時間未満」と回答する割合が前回より増加しました。一方、1年生・2年生および「授業に関連しない勉強」については、全学年で「全然ない～1時間未満」の割合が前回より大きく減少し、特に1・2年生で改善が顕著でした。2025年度入学生は、2024年度入学生と比較して学修習慣が身に付いている学生が多くいることを示しています。

3-5-1 週あたり授業外学修時間（授業課題・準備学習・復習）（共通学生調査 2025）



※学生の負担軽減のため共通学生調査 2025 では3年生にはこの質問を聞いていません。

3-5-2 週あたり授業外学修時間（授業に関連しない勉強）（共通学生調査 2025）

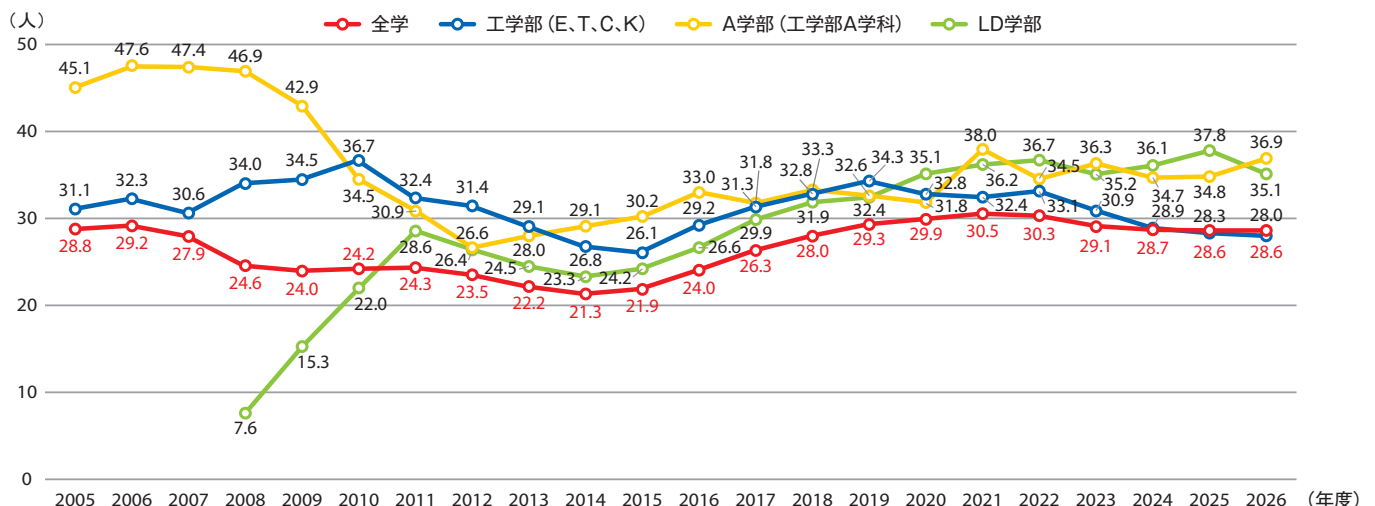


※学生の負担軽減のため共通学生調査 2025 では3年生にはこの質問を聞いていません。

3-6 ST比

「教員一人あたりの学生数」を示すST比は、2016年度以降の在籍者数増加により2021年度まで上昇し、以降は全学で28～30人前後で推移しています。学部別では、工学部（E、T、C、K）が緩やかな減少傾向にある一方、A学部、LD学部は工学部に比べ教員一人あたりの学生数が多い状態が続いています。

3-6-1 ST比推移

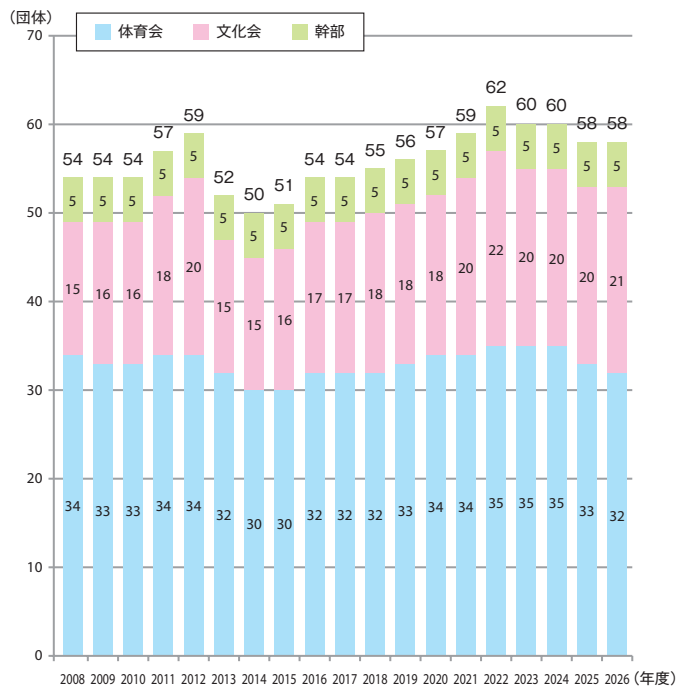


※ 2025年度より基幹教員制度に移行していますが、データの連続性の観点から本グラフでは従来の専任教員を用いて算出しています。

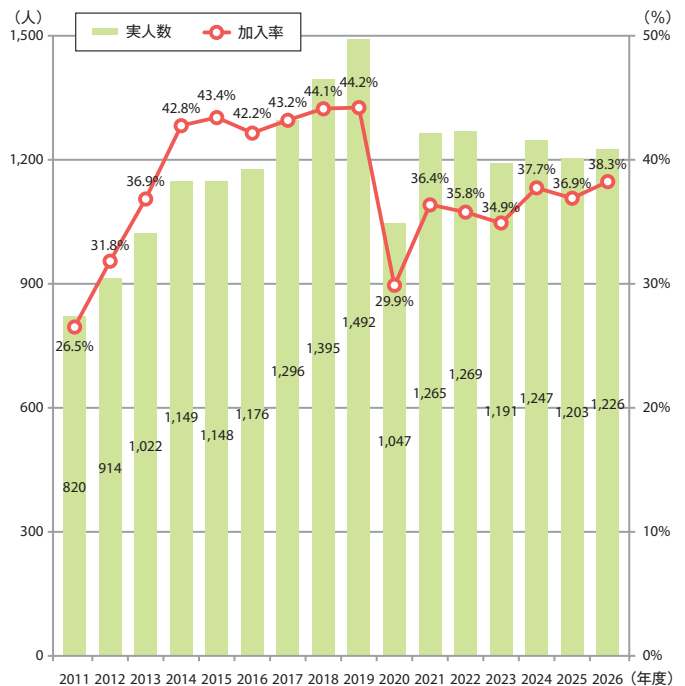
3-7 課外活動

コロナ禍以降、課外活動団体数は60団体前後、課外活動への実加入率は37%前後で推移していますが、2026年度は団体数が前年度より若干減少したものの、加入者実人数・加入率はいずれも前年度より増加しました。

3-7-1 課外活動団体数推移



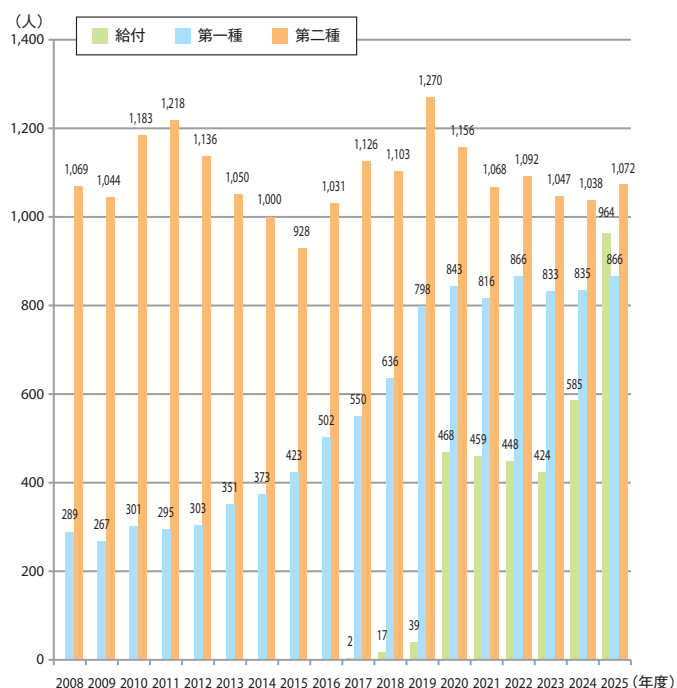
3-7-2 課外活動団体加入者（実人数）・加入率推移



- 加入者実数：複数のクラブ掛け持ちの学生は併せて1カウント
- 加入率＝加入者実数÷各年度5月1日時点在籍者数

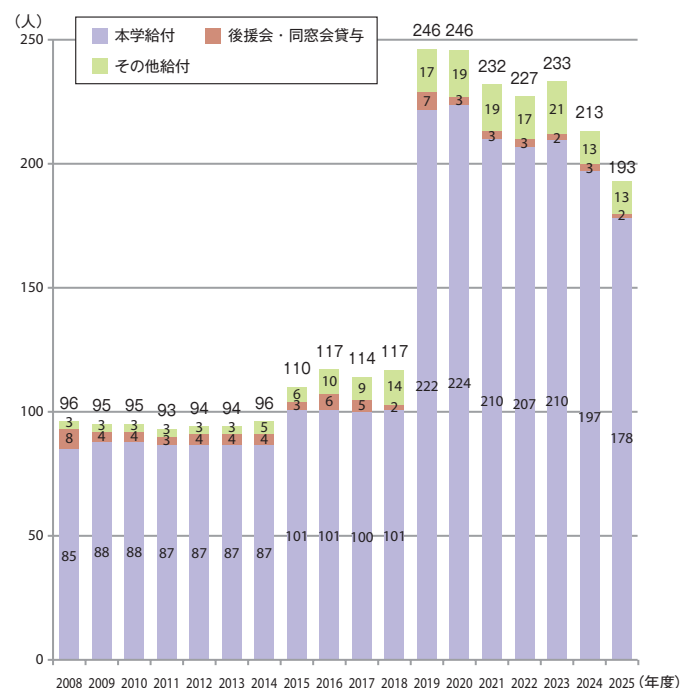
3-8 奨学金

3-8-1 日本学生支援機構奨学金受給者数推移



- 第一種と第二種の併用者を含む＝延べ受給者数

3-8-2 本学・その他奨学金受給者数推移



- 本学給付＝学業最優秀奨学生・学業優秀奨学生・学業一般奨学生
課外活動優秀奨学生・課外活動一般奨学生

【凡例】

- (1) 年の表記は、原則として西暦で記載し、必要に応じてカッコ内に和暦を併記しました。
- (2) 数値データ等（法人概要に記載の情報を含む）の基準日は、各項目において特に指定がある場合を除き、原則として2026年5月1日現在（複数年推移の場合は、各年5月1日現在）としました。
- (3) 財務状況および法人概要については、併設校（仙台城南高校）を含む学園全体の情報を記載しました。
- (4) 「9 仙台城南高校～12 法人概要」においての「高校」（この他、本書において「併設校」とは、全て仙台城南高校のことをいいます。
- (5) 学外の統計資料または出版物等から転載したものについては、脚注に出典を明記しました。
- (6) 男女別のグラフは、女性数の推移を見やすくするために、女性を下に表示しています。
- (7) 入学者数や5月1日時点の在籍者数等は、原則として学校基本調査等で報告している公式の人数や数値を用いています。
- (8) 学部・課程／学科名称の略記号は、以下のように表記しています。

学部名称	略記号	課程／学科名称	略記号
工学部	I	電気電子工学課程／電気電子工学科	E
		情報通信工学課程／情報通信工学科	T
		都市工学課程／都市マネジメント学科	C
		環境応用化学課程／環境応用化学科	K
建築学部	A	建築学科（工学部建築学科を含む）	A
ライフデザイン学部	LD	産業デザイン学科	CD
		生活デザイン学科	SD
		経営デザイン学科	MD

- (9) FACT BOOK2026【3－2】～【3－5】、【4－2－2】で使用したデータの調査概要

調査名	PROG 調査 2025	PROG 調査 2026	共通学生調査 2025	卒業後調査 2025	ブランディングに関する教職員アンケート
実施時期	1年生：2025.4.28～5.16 4年生：2025.9.22～10.22	1年生：2026.4.27～6.12 4年生：9～10月実施予定	2025.12.22～2.6	2026.1.5～2026.1.31	2026.1.13～2026.2.20
実施対象	1・4年生全学部全学科	1・4年生全学部全学科 （4年生未実施）	全学部全学科	2009年度卒業生 2014年度卒業生 2019年度卒業生	全教職員
実施方法	1年生：Web方式 4年生：マークシート方式	1年生：Web方式	Web方式	Web方式	Web方式
合計回答率	97.0% 1,560名／1,608名	99.6% 832名／835名	58.2%【-12.6ポイント】 1,854名／3,183名	10.5%【-2.2ポイント】 190名／1,811名	81.4%【+1.1ポイント】 179名／220名
学年別回答率	1年生：98.5% (793/805) 4年生：95.5% (767/803)	1年生：99.6% (832/835) 4年生：未実施	1年生：56.0% (444/793) 2年生：47.7% (376/788) 3年生：43.6% (353/809) 4年生：85.9% (681/793)		

※PROG 調査 2026 については、4年生が後期に実施予定のため、1年生の集計データのみ記載しています。

※卒業後調査 2025 については、対象の3年度の卒業生計 1,937 名のうちショートメールを送付できた 1,811 名に調査回答依頼メールを送付しました。